シンクロスコープ SS-7635/SS-7625
〔350MHz〕 〔250MHz〕

取扱説明書（入門編）

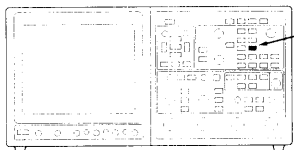
目次

取扱説明書の読み方……1
画面の読み方……2
操作ガイド……3
電源投入と測定終了……3
画面の明るさ、鮮明さ調整……4
CAL波形の表示……6
波形の移動……7
振幅の拡大、縮小……8
波形の左右拡大、縮小……9
正面パネル……10

取扱説明書の読み方

SS-7635／7625の取扱説明書は、「機能編」と「入門編」から構成されています。
「入門編」はSS－7635／7625との出会いをお手伝い致します。シンクロスコープをはじめてお使いになる方にも簡単に操作を体験していただけると思います。
便利な測定方法あるいは各部機能を詳しくお知りになりたい方は、本文の「取扱説明書（機能編）」をご覧ください。

◆ キーの読み方

◇ パネル操作箇所の紹介

機能を引き出すために使用するキーをパネル図に■印で示します。各ページの右肩に掲載してあります。

◇ キーの読み方

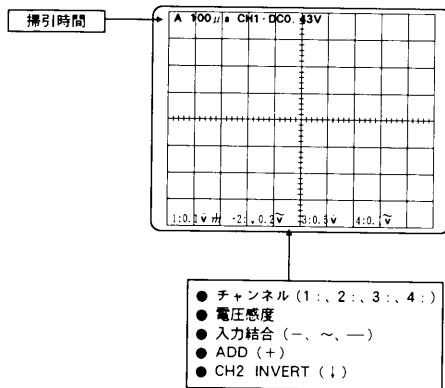
- ALT　AUTO LVL　キーやスイッチの名称または押す操作です。
  キーを囲む点線：キーを明確にするための仮の線
- POSITION　ツマミの名称または押す操作、回す操作です。
- DC AC ／ DC AC　対象のキーを押す毎に二つの状態が切換わります。
- CH1 , CH2　掲げたキーのいずれかのキーを押して目的の機能を引き出します。
  数回押す場合もあります。
- B → CH2　キーを押す順序です。

◆ 操作説明の記号

- ①,②,③ …　キー操作手順です。
- **SWEEP**　太文字は操作によって選択される機能です。

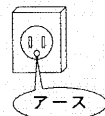
◆ 説明の分類

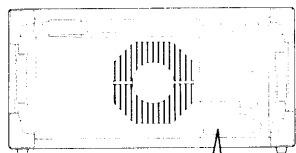
- 注意　人体に危険なこと、機器の故障、損傷への注意、喚起
- 一寸一言　知っていると便利なこと、他の操作方法、関連キーの紹介、アドバイス等

画面の読み方

電源投入と測定終了

注意！

◇危険防止のため電源コードを接続するときは次のことを必ず守ってください。

- 電源電圧はAC100Vをお使いください。
- 付属の電源コードをお使いください。
  付属の電源コードはAC100V用3芯コードです。
- 電源電圧が200V系のときは200V系用3芯（定格250V）の電源コードをお使いください。

◆ 電源を入れるとき

（背面パネル図）

① 電源スイッチを押して"OFF" に切換えます。

② 電源コードのプラグを本体背面のインレットに差込みます。

③ 電源コードの電源プラグをACコンセントに差込みます。

④ 電源スイッチを押して"ON" に切換えます。

- まもなく画面に輝線か文字、または両方が現われます。

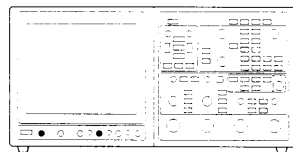
  もし現われないときは INTEN A または INTEN B を右に回してください。
  （工場出荷時は左いっぱいの位置に合せてあります。）

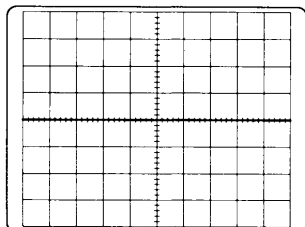
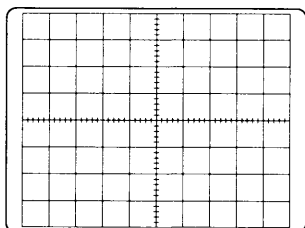
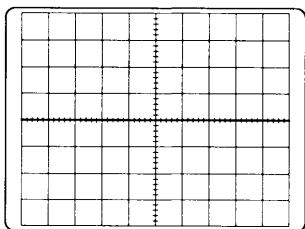
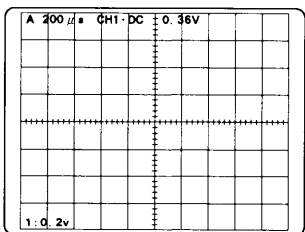
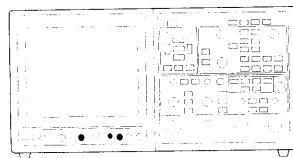
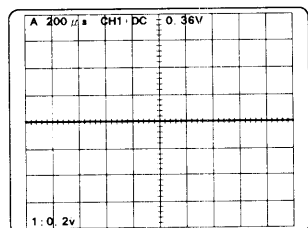
⑤ 次ページ以降の操作を始めてください。

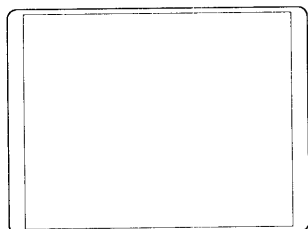
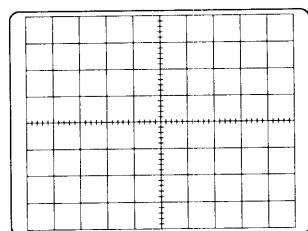
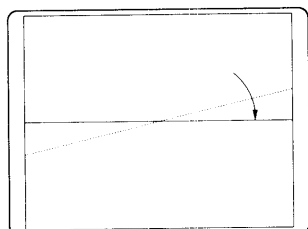
◆ 電源を切るとき

電源を切るときの順序は特にありません。

- 電源を"OFF" にすると、その直前の測定条件が記憶されます。再度電源を投入すると"OFF" 直前の測定条件で再開します。

画面の明るさ、鮮明さ調整

電源投入の次は画面の調整です。画面操作の基本の輝線、文字の明るさ、鮮明さを調整します。

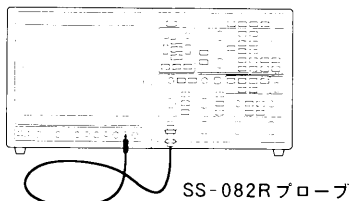
◆ INTEN（輝線の明るさ）

INTEN :
まぶしい程明るいまま長時間放置すると画面を損傷します。疲れない明るさに合わせてください。

◆ FOCUS（鮮明さ）

FOCUS :
輝線と文字が鮮明になるように調整します。

◆ READOUT（画面表示文字）

READOUT：
文字の明るさを調整できます。左まわし一杯で文字が消えます。

◆ SCALE（目盛り照明）

SCALE：
画面目盛りの照明調整に使います。

◆ TRACE ROTATION

TRACE ROTATION：
輝線が傾いた時、目盛りと平行になるように調整します。

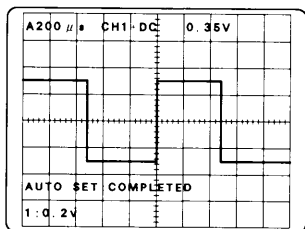
CAL波形の表示

（CAL 信号：電圧感度、時間軸の校正およびプローブの位相調整用）
シンクロスコープを使用した測定は画面に波形を表示することから始まります。
初めてSS-7600シリーズを使用される方、まだ使い慣れていない方に備え付けのCAL信号をCH1に入力し画面に表示する手順を紹介します。

◆ 操作に入る前の準備

付属の専用プローブ（SS-082R）を使用してCH1にCAL（校正信号）を接続して下さい。

◆ キー操作手順

AUTO SET
指定

◆ 操作手順詳細説明

① AUTO SET キーを押します。

- AUTO SET が終了すると画面にAUTO SET COPLETEDの文字が現われ、CAL波形が表示されます。

"AUTO SET" の各測定条件

	測定条件項目	測定条件
垂直偏向系	VERT MODE	AUTO SET 指定前の測定条件
	CH2 INV	同上
	BW（20MHz）	OFF
	VOLT／DIV	波形振幅約1～7div（約200Hz～100MHz）
	VARIABLE	CALIB
	入力結合	AUTO SET 指定前の測定条件

	測定条件項目	測定条件
水平偏向系	HORIZ DISPLAY	A
	A SEC／DIV	2ms～5ns／div の間で波形周期約2.5～5周期
	VARIABLE	NORM
	×10 MAG	OFF
同期	A TRIG SOURCE	AUTO SET 指定前の測定条件 同期が掛からなければ、CH1,CH2,CH3,CH4 の順に自動的に切り換わる
	A TRIG 入力結合	DC
	A TRIG SLOPE	AUTO SET 指定前の測定条件
	A TRIG LEVEL	AUTO LEVEL

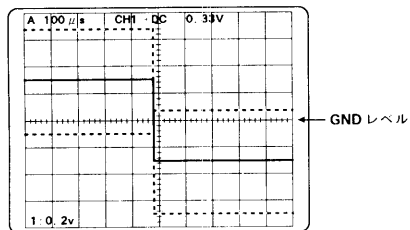
一寸一言

- AUTO SETは、入力される信号の振幅や周波数を判別し、観測に適した測定条件を自動的に選び出し画面に表示します。

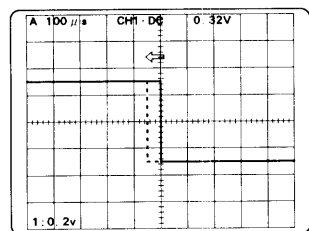
波形の移動

POSITION

波形を観測しやすい位置に動かすことができます。

上下に波形を動かす操作

① 対象のチャンネルの POSITION ツマミを回して波形を上下に移動します。

左右に波形を動かす操作

① POSITION ◄► FINE ツマミ（外側）を回して波形を観測し易い位置に移動します。

● **BEAM FIND**

輝線の位置が画面から大きくはずれて見えないときは**SCALE**のつまみを押して輝線の位置を確認します。

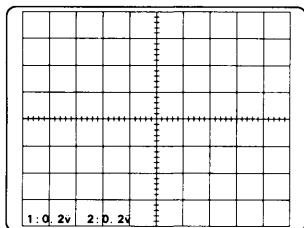
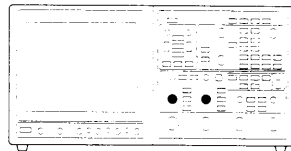
操作ガイド

振幅の拡大、縮小

VOLTS／DIV VARIABLE

電圧感度を切換えて波形を観測に適した大きさの振幅に調節します。

電圧感度のステップ選択（CH1,CH2）

VOLTS/DIV
VARIABLE
5V 2mV

① ツマミ（外側）を回して電圧感度を選択します。

電圧感度の連続可変

VOLTS/DIV
VARIABLE
5V 2mV

① ツマミ（内側）を回して電圧感度を連続的に変えます。

● 電圧感度の選択範囲は次のとおりです。
　最高感度：2mV／div
　最低感度：5V／div
付属のプローブを使うと上記の10倍になります。
　最高感度：20mV／div
　最低感度：50V／div

● 電圧感度は、画面で確認できます。

波形の左右拡大、縮小

A SEC／DIV　A VARIABLE

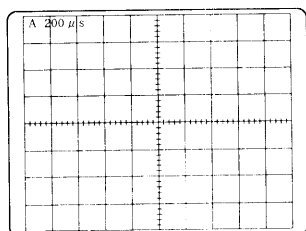
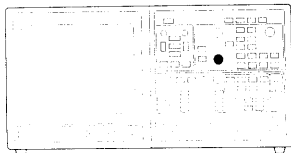
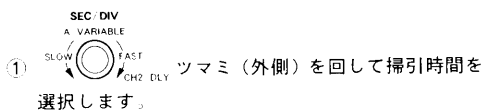
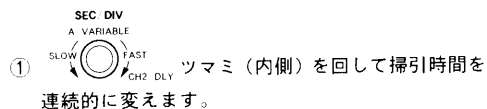
表示波形を横方向に広げ、あるいは縮めて、観測に適した掃引時間を選択します。

掃引時間のステップ選択（通常使うA掃引）

SEC/DIV A VARIABLE SLOW FAST CH2 DLY

① ツマミ（外側）を回して掃引時間を選択します。

掃引時間の連続可変

① ツマミ（内側）を回して掃引時間を連続的に変えます。

一寸一言

- 掃引時間の選択範囲は次のとおりです。
  最高掃引時間：5ns/div(0.5ns/div×10)
  最低掃引時間：0.5s/div
- 掃引時間は画面で確認できます。
- ×10 MAG キーを押すと波形は画面中央より左右に10倍拡大されます。もとに戻すときはもう一度 ×10 MAG キーを押してください。

正面パネル

自動設定
(AUTO SET)
(P.6)
A掃引時間
水平方向の調節（POSITION）
：波形移動（外側）(P.7)
波形移動の微調節(内側)
×10 MAG ：掃引時間を10倍に拡大
(P.9)
掃引様式（SWEEP MODE）の選択
AUTO LVL
AUTO
NORM
SINGLE
時間軸表示様式（HORIZ DISPLAY）の選択
A ：A掃引
ALT ：ALT掃引
B ：B掃引（A掃引波形の拡大）
X-Y ：X-Y表示
画面表示様式（VERT MODE）の選択
CH1 ：
CH2 ：
CH3 ：
CH4 ：
ADD ：CH1，CH2加算
ALT ：多現象表示
CHOP ：多現象表示
50Ω、1MΩ :入力抵抗選択
入力結合の選択
AC ：交流結合
GND ：接地電圧
DC ：直流結合
INPUT
電圧感度VOLTS／DIVの選択 (P.8)
波形の上下移動
(POSITION) (P.7)
電源スイッチのON／OFF切換え
(P.3)
画面調整
A INTEN、B INTEN ：輝線の明るさ調整 (P.4)
READOUT ：文字の明るさ調整 (P.5)
FOCUS ：焦点調整 (P.4)
TRACE ROTATION ：輝線の傾き補正 (P.5)
SCALE ：目盛り照明の調整 (P.5)